

ジャンボタニシによる被害を防ぐために

被害防止は複数の対策の組み合わせが有効です

暖冬の影響で、越冬する**ジャンボタニシ**（スクミリンゴガイ）が**増加傾向**にあります。生態を知り、**対策**を**組み合わせ**て農作物への**被害**を**防ぎましょう**。

ジャンボタニシの生態や対策の詳細はこちらをご参照ください



冬眠中（水温14℃以下）

ロータリー耕うん

※ロータリー耕うんで貝を破碎、または厳寒期の低温にさらして越冬する個体を減少させる。

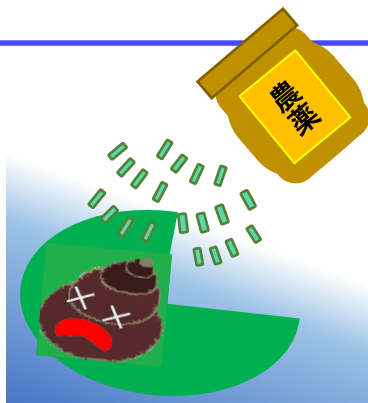


越冬個体の活動再開（水温15℃～17℃）

登録農薬の散布

※必ず登録農薬を使用し、ラベルに記載された使用方法、使用量、使用時期等を遵守する。使用の際は漏水防止対策を行い、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

※水温が上昇し、貝が活動していることを確認したら、農作物への食害が発生する前に農薬を散布する。



ほ場への侵入防止

※水口にネットや網を設置しほ場への侵入を防止する。

★農薬散布や侵入防止対策は、ジャンボタニシが活動している間、適宜実施!!



活動中（水温15℃～35℃）

卵塊・成貝の駆除

※卵塊は見つけたら水中に落とす。
成貝はトラップ等で捕殺する。
卵や貝は素手で触らない。



浅水管理（水深4cm以下）

※水の中でしか摂食できないので、浅水管理で食害を防止する。



【問合せ先】 県南農林事務所振興・環境室農業振興課
県南農林事務所経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）
県南農林事務所稲敷地域農業改良普及センター
県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

電話(029)822-7086
電話(029)822-8517
電話(029)892-2934
電話(029)836-1109

FAX 822-7345
FAX 822-7370
FAX 892-6684
FAX 836-1816